



ベガルタ仙台レディース 後援会通信

2019年 3月24日発行

vol.1

編集・発行/
ベガルタ仙台レディース後援会

(通算 vol.33)

新生「戦う集団 マイナビベガルタ仙台 レディース」の今季の活躍に期待

ベガルタ仙台レディース後援会会長 松坂 信

2019年プレナスなでしこリーグ1部ホーム開幕おめでとうございます。

昨シーズン最終戦での1部残留決定から3ヶ月が過ぎ、新たに5名の選手を迎えての新チーム!新監督として辛島啓珠監督を迎え、千葉で行われた交流戦、泉パークタウンサッカー場での連日の練習、そして、仕上げに昨年に引き続き暖かい台湾でのキャンプでしっかりと負荷をかけ、シーズン通して戦う力、戦う能力、戦う戦術を身につけてきたと確信しています。

「捲土重来」という今年のスローガン!『昨年の悔しさを勢いに変え、再び攻めていく』新たに、『戦う集団』へと変貌した彼女たちの姿を心待ちにしてきました。

私たちベガルタ仙台レディース後援会も、シーズン開幕に向け、今シーズンの活動計画を実行に移すところきております。

仙台白百合女子大学「氏家ゼミの皆さん」の協力を得て、

スポーツ栄養学を通じたレディース選手への『まごころ弁当』事業を、継続事業として順次行っていきます。さらに今年創立されるレディースユースへも、スポーツ栄養セミナーを拡大していこうと考えています。

ゲームは、ホームのユアテックスタジアム仙台のみならず、弘進ゴムアスリートパーク仙台や、利府町のひとめぼれスタジアム宮城、石巻総合運動公園、角田市陸上競技場、みやぎ生協めぐみ野サッカー場をはじめ青森県八戸市や、福島県会津若松市で開催されます。東北一円への女子サッカーの普及、応援の一助となるような活動を、後援会の皆様と一緒に進めて行きたいと思っております。

活動の様子はホームページを中心に皆様にご報告させていただきます。

どうか今シーズンも温かな応援・支援をよろしくお願い申し上げます。



台湾キャンプ出発壮行式

2月26日(火)、昨年に続き2度目となる台湾キャンプ出発壮行式が仙台国際空港にて行われました。これは、ベガルタ仙台・市民後援会およびベガルタ仙台ホームタウン協議会、ベガルタ仙台レディース後援会の主催によるものです。

辛島啓珠新監督と選手たちを前に、松坂会長が激励の言葉を送りました。

※壮行式の様子や激励の言葉の内容は、レディース後援会のホームページをご覧ください。

ホームゲーム会場の
後援会ブースで
受付をしています。

- 入会金 / 3,000円(初回のみ)
- 年会費 / 1口 2,000円(何口でも)
- 入会特典 / 後援会オリジナルTシャツ、後援会オリジナルバッジ
- 更新手続きも、同時に受け付けています。



☆入会時は入会金と年会費を合わせた金額をお支払いください。(更新時は年会費のみ) ☆2019年度会期は2020年1月31日までです。
☆入会時に会員証をお渡しいたします。 ☆郵便振替での更新手続きもできます。ブーススタッフにお声がけください。
☆本年度バージョンの「後援会オリジナルバッジ」を進呈いたします。



The Support Association of VEGALTA SENDAI LADIES



©1999 VEGALTA

第7回定時総会開催

2月17日(日)、郡和子仙台市長代理の仙台市文化観光局文化スポーツ部部长 伊藤勝也様、ベガルタ仙台(株)代表取締役社長 西川善久様、ベガルタスポーツクラブ(株)常務取締役 齋藤美和子様、同部長 貝田真様を来賓としてお迎えし、第7回定時総会を、ユアテックススタジアム仙台の会議室を会場に開催しました。2018年度事業報告・収支決算と2019年度事業計画・予算案、新理事が承認されました。2019年度顧問・役員は以下の通りです。今年度一年間どうぞよろしくお願いいたします。

顧問

郡 和子 (仙台市長)

中島信博 (東北大学名誉教授)

会長

松坂 信 (株式会社すてーきはうす伊勢屋代表取締役社長)

副会長

氏家幸子 (仙台白百合女子大学人間学部健康栄養学科准教授)

佐藤幸恵 (株式会社日専連ライフサービス 執行役員総務・財務部部长)

理事

石田一也、海老名快、大山照枝、岡田英大、齋藤昭子、菅田華江、※鈴木正則、田村伸一郎、内藤恵子、松良基広、八島八重子 (※新理事)

監事

板垣金太郎、河野雪子

元スタジアムDJ大坂ともおさん 特別講演「スタジアムDJから見たサッカー」

総会後半、ベガルタ仙台元スタジアムDJ、大坂ともお氏による講演は、「GOOOAL!!!」という雄叫びこそなかったが、張りのある魅力的な声と話術での1時間、聴衆を魅了しました。

スタジアムDJになったのはブランメル時代。1999年ブランメルからベガルタに変わったときに専属DJになった。サポーターの応援に寄り添うDJになろうと思った。一試合一試合ごとに盛り上がってJ1昇格を果たした2001年、休業の時代だったJ2降格期間、J1復帰までの道のりも、絶望を希望に変えるために、DJの役割は盛り上げることと考えてやってきた、すべてがかけがえのない思い出だ。

東日本大震災直後、千葉直樹選手とサッカーボール一個だけを持って、六郷、七郷、蒲町を回った。子どもたちが笑顔になって夢中でボールを追いかける姿を見て、サッカーって素敵だと思った。2人で沿岸部を回り、何人かの選手も加わった。一方で津波で亡くなったサポーターがいたことも知った。

DJをやめることにしたのは、チームが20周年を迎え、新しい一歩を踏み出そうとしているときに、古株の自分は重荷になるのではと考えたからだ。自分も新たな挑戦をする。スポーツを通じた文化、社会貢献活動を行う一般社団法人を立ち上げて活動している。スポーツは楽しむもの。応援する立場で、後援会にも協力したい。



講演の途中、何度か涙ぐむ場面がありました。大坂さんの温かい人柄を垣間見た思いがしました。



ベガルタ仙台レディース後援会
SINCE 2012

レディース後援会のホームページ <http://vegalta-ladies.com/>

